Wingnet利用者マニュアル

株式会社コンピュータウィング

操作ユニット

プロジェクター送信ソース選択

1 入力1 2 入力2 3 入力3 4 入力4 5 入力5 6 入力6 7 入力7

マスターユニットに接続された機器の映像をプロジェクターに送信
音声を教室スピーカーに送信

マルチモニタ

マルチ

学生PCの画面を一覧表示

ブラックアウト

ブラックアウト

学生PCの画面消去とキーボードとマウスのロック

このスイッチからスタート

電源スイッチ

マスターユニットの電源ON／OFF

ブラウザーロック

ブラウザーロック

Webブラウザーの使用禁止

起動／シャットダウン

起動
シャットダウン

学生PCの起動・シャットダウン
※シャットダウンは3秒間長押し

中間モニター送信ソース選択

1 入力1 2 入力2 3 入力3 4 入力4 5 入力5 6 入力6 7 入力7

マスターユニットに接続された機器の映像を中間モニターに送信

F1・F2

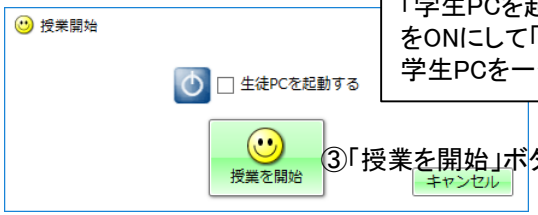
任意の機能をお好みに合わせて割り当て可能

ボタンを押すとLEDが点灯・音が鳴り
機能がONになります。
もう一度押すとOFFになります。

Wingnetの起動

①操作ユニットの「Power」ボタンを押します。

②デスクトップ上の「Wingnet」アイコンをダブルクリックします。

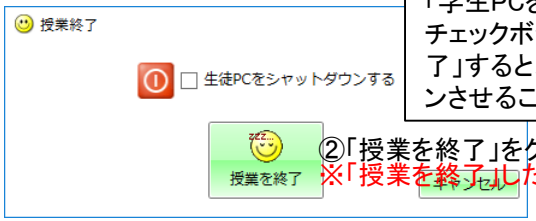


「学生PCを起動する」のチェックボックスをONにして「授業を開始」すると、学生PCを一斉起動することができます。

③「授業を開始」ボタンをクリックします。

Wingnetの終了

①「アプリケーションメニュー」の「授業終了」をクリックします。



「学生PCをシャットダウンする」のチェックボックスをONにして「授業を終了」すると、学生PCを一斉シャットダウンさせることができます。

②「授業を終了」をクリックします。
※「授業を終了」した後、Wingnetを閉じてください。

Wingnetメインウインドウ

①アプリケーションメニュー
ここから授業開始・終了や各種ツール、マニュアルを開きます。

②リボン
Wingnetの機能を使うためのボタンが「タブ」と種類で整理されて並びます。

③サイドバー
「グループ」
学生アイコンの選択・非選択をまとめて変更できます。

「状態」
実行中の機能が表示されます。
ここから機能を停止することもできます。

「授業中」
Wingnetを使って「授業中」であるかを確認できます。
※「授業中」の時のみ表示されます。

「教室名」
教室名が表示されます。

「スライダー」
教室レイアウト(学生アイコン・プリンターアイコン)の拡大・縮小ができます。

④学生アイコン
学生PCの状態が表示されます。

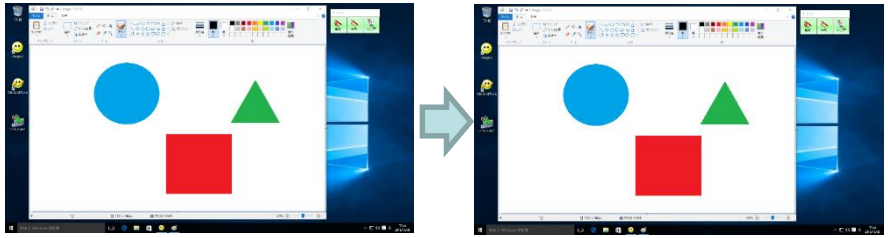
クリックするたびに選択・非選択状態が切り替わります。

右クリックするとメニューが表示され、個別に操作する事ができます。

⑤プリンターアイコン
プリンターの状態が表示されます。

[基本]タブ→中間モニター

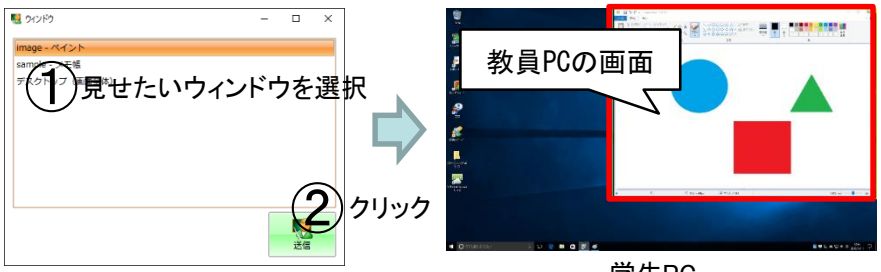
教員PCの画面(全体)を見せる
教員PCの画面を中間モニターに表示することができます。



教員PC　　中間モニター

[基本]タブ→画面送信

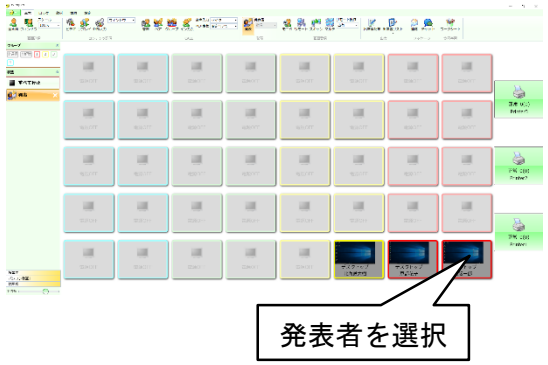
教員PCの画面(ウィンドウ)を見せる
教員PCで開いているウィンドウから、見せたいものを選択して「送信」ボタンを押すと学生PCの画面に表示することができます。

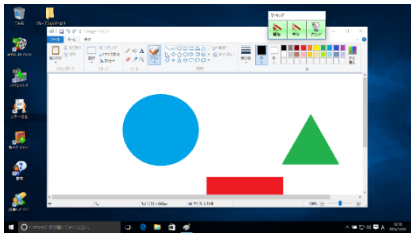


学生PC

[基本]タブ→発表

学生PCの画面を教員PCと他の学生PCへ送る
発表者の画面を、教員PCと中間モニターに表示することができます。





発表者の学生PC

教員PC

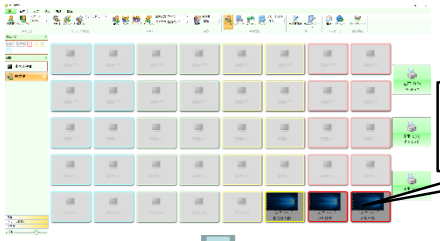
中間モニター

[基本]タブ→中間モニター

AV機器の映像を見せる
マスターユニットに接続したBlu-rayデッキや書画カメラの映像を中間モニターに表示することができます。

[基本]タブ→画面受信

学生PCの画面を見る
指定した学生PCの画面を教員PCの画面に表示します。



モニタリングする
学生PCを選択

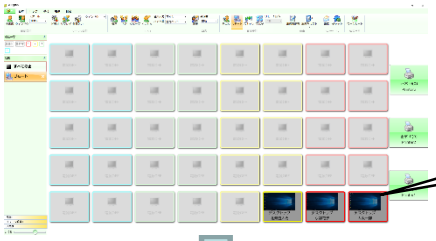
選択した学生PCの画面

教員PC

「モニタ」ボタンでモニタ
対象選択に戻ります。

複数の学生PCの画面を見る
複数の学生PCの画面を1画面でモニタリングすることができます。

学生PCをリモート操作する
指定した学生PCを、教員PCからリモート操作することができます。



操作する学生PCを選択

選択した学生PCの画面

教員PC

「操作停止」で操作対象
選択に戻ります。

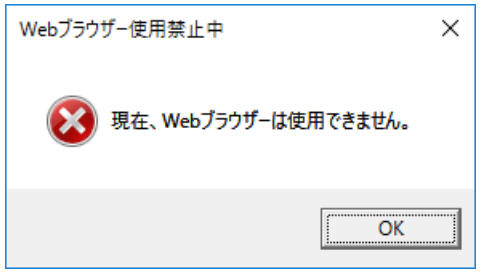
学生PCの画面を巡視する
学生PCの画面を自動的に切り替えて巡視することができます。

[ロック]タブ→ロック

キーボードとマウス操作を禁止する
学生PCのキーボードとマウスの操作が行えなくなります。

画面をブラックアウトする
学生PCの画面をブラックアウトさせ、操作が行えなくなります。

Webブラウザーの起動を禁止する
学生PCでInternet Explorer等が起動できなくなります。



[電源]タブ→電源

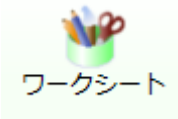
学生PCを一斉起動・シャットダウン・ログオン・ログオフ・再起動させることができます。

機能を停止する

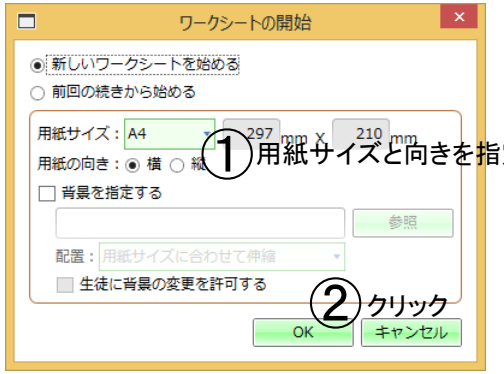
「サイドバー」の「すべて停止」ボタンで、実行している機能をすべて停止します。

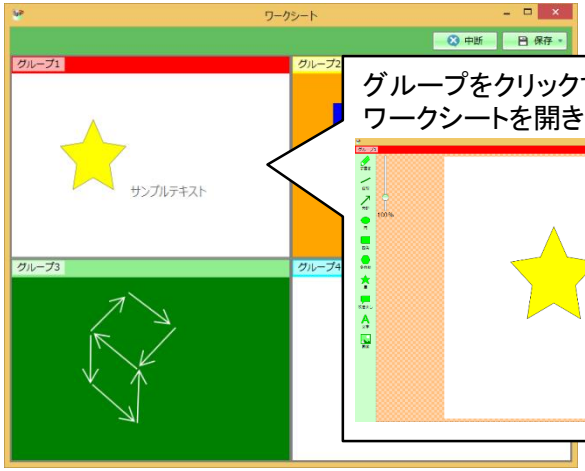
※ブラウザーロックは停止されません。

[基本]タブ→協同学習



ワークシートを開始する(教員用)
用紙サイズや向き・背景画像を指定して開始すると、
各グループのワークシートを一覧できる画面が表示されます。



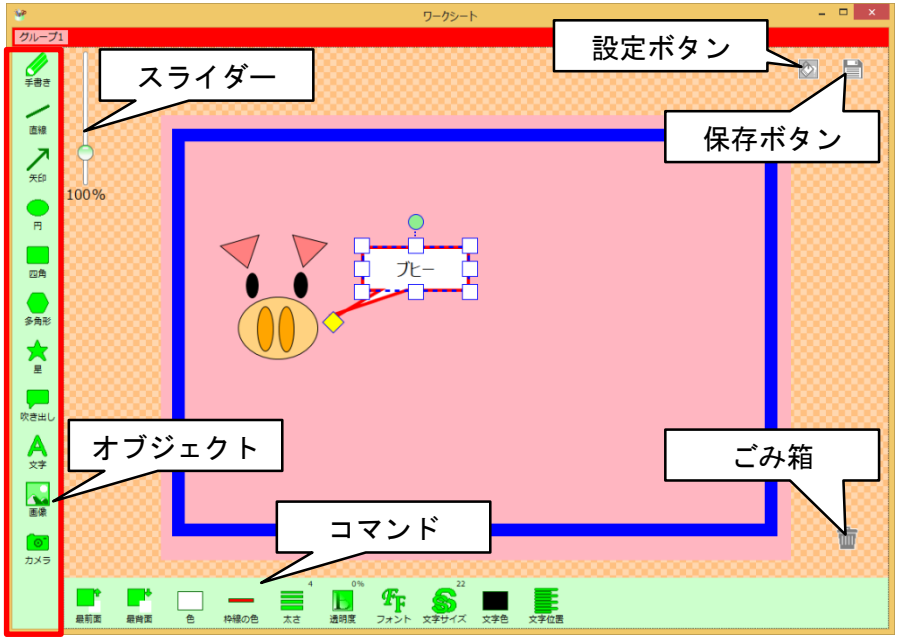


ワークシート(学生用)
さまざまなオブジェクトを配置して、グループのみんなでひとつの作品を作成しましょう。

配置したオブジェクトは同じグループの誰でも編集することができます。

オブジェクトの色を変えるときなどは、対象オブジェクトをクリックして「コマンド」を選択します。

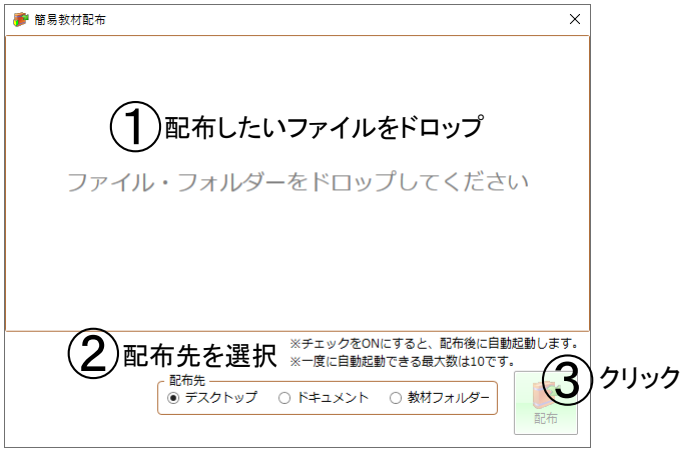
不要なオブジェクトを削除するときは、対象オブジェクトをごみ箱にドラッグアンドドロップします。



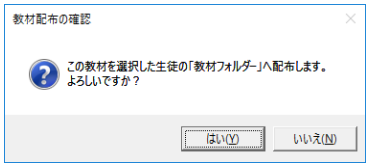
[教材]タブ→教材

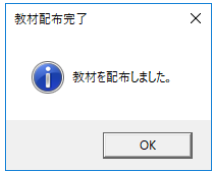
教材(ファイル)を配布する

「教材」タブの「簡易配布」ボタンをクリックすると、簡易教材配布画面が開きます。

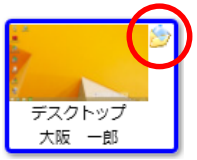


教材配布の確認画面が表示されますので「はい」を選択すると、学生PCに教材(ファイルやフォルダ)を配布することができます。





教材が配布された学生アイコンには「教材マーク」が表示されます。
※「教材マーク」は回収を行うと消えます

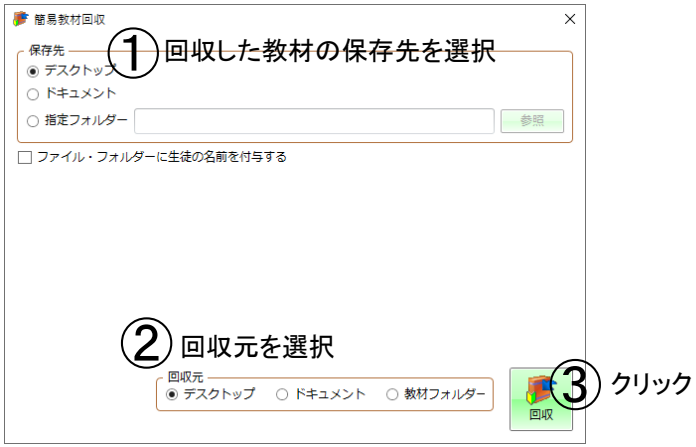


教材配布後

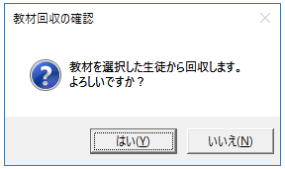
教材回収後
(または教材配布前)

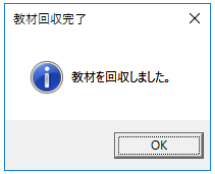
配布した教材を回収する

「教材」タブの「簡易回収」ボタンをクリックすると、簡易教材回収画面が開きます。

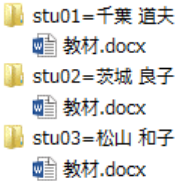


教材回収の確認画面が表示されますので「はい」を選択すると、教員PCの指定したフォルダに教材を回収することができます。

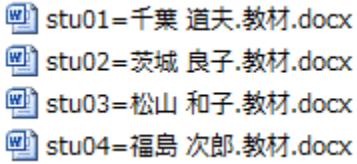




「ファイル・フォルダーに学生の名前を付与する」のチェックボックスをONにすると、回収したファイル・フォルダーに学生名を付与して回収します。



通常の回収



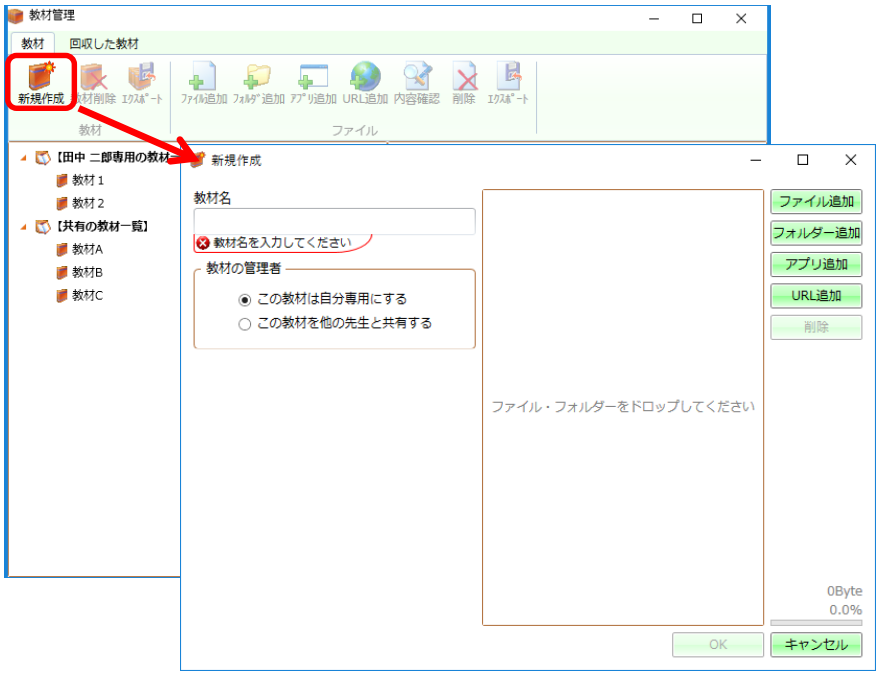
ファイル・フォルダーに学生の名前を付与する

配布する教材や回収した教材をサーバーで一元管理することができます。

サーバーに一度登録した教材は、簡易教材配布と違って、都度準備しなくてもすぐさま何度でも配布できます。
また、回収した教材もサーバーに集約されるためファイルの紛失を予防することができます。

教材を登録・編集する

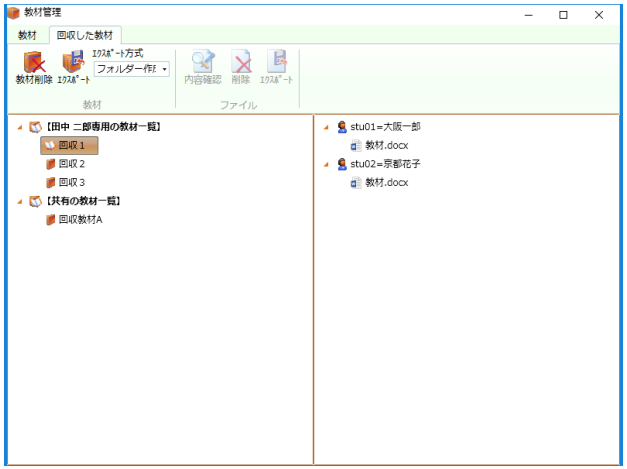
「教材管理」画面の「教材」タブでは、登録した教材にファイルを追加したり、不要になった教材を削除したりすることができます。

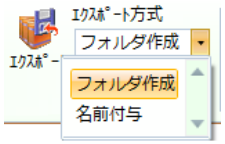


1. 教材管理画面の教材タブで「新規作成」ボタンを押します。
2. 新規追加画面が開くので、教材名・教材の管理者・公開設定・配布したいファイル等を指定して「OK」ボタンを押します。

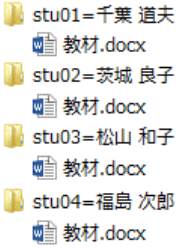
回収した教材を管理する

「教材管理」画面の「回収した教材」タブでは、回収した教材の内容を確認したり、教材サーバーから教員PC上にエクスポートすることができます。

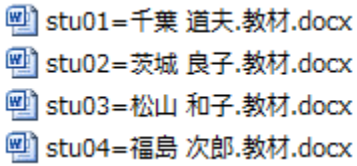




「エクスポート方式」で、教材のエクスポート時に学生ごとにフォルダを作成するか、ファイル名に学生の名前を追加するかを選択することができます。



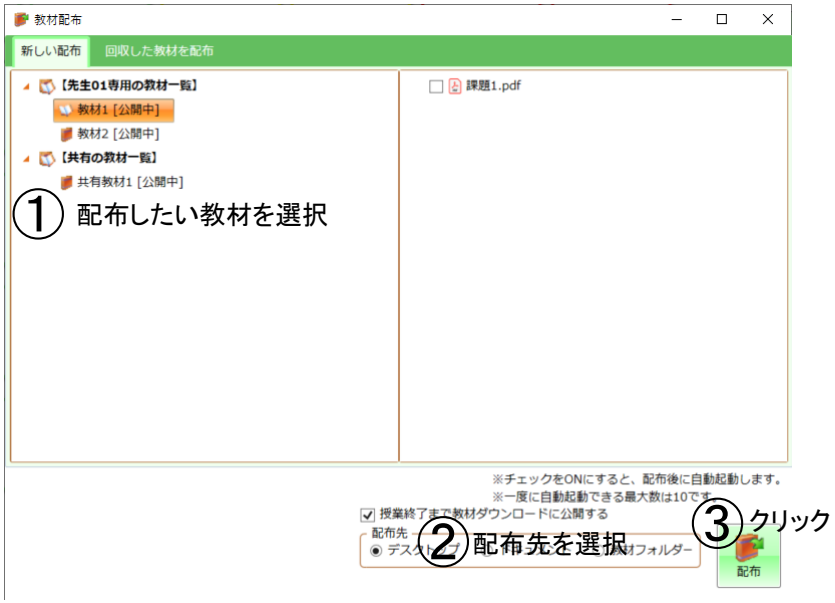
フォルダ作成



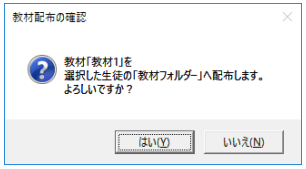
名前付与

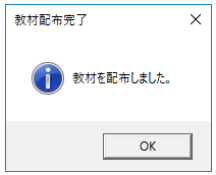
教材を配布する

「教材」タブの「配布」ボタンをクリックすると、教材配布画面が開きます。



すると教材配布の確認画面が表示されますので、「はい」を選択すると教材を配布することができます。

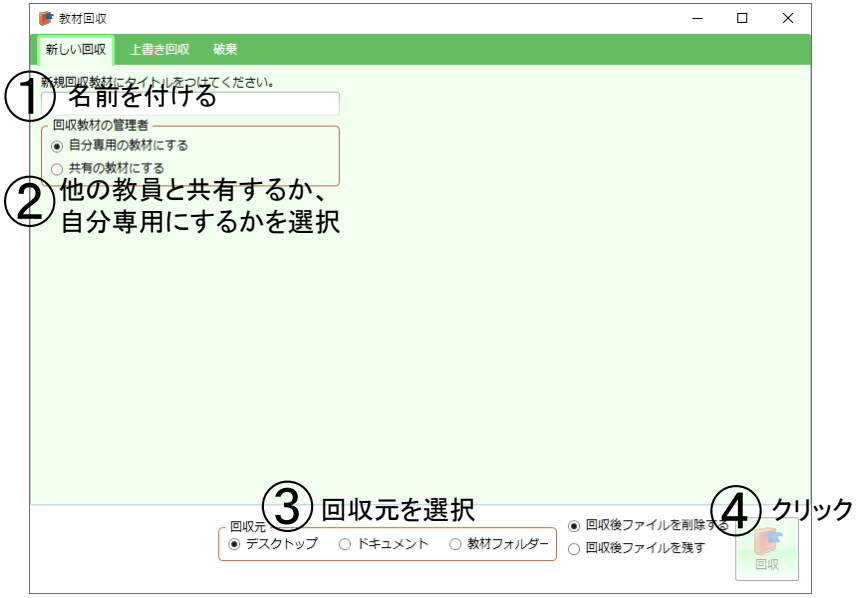




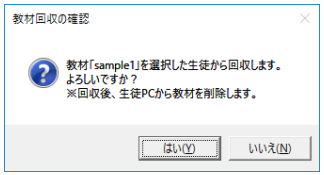
教材が配布された学生アイコンには「教材マーク」が表示されます。

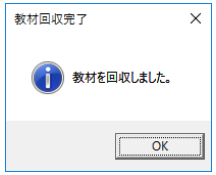
配布した教材を回収する

「教材」タブの「回収」ボタンをクリックすると、教材回収画面が開きます。



すると教材回収の確認画面が表示されますので、「はい」を選択すると教材を回収することができます。

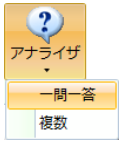




教材が回収された学生アイコンから「教材マーク」が消えます。

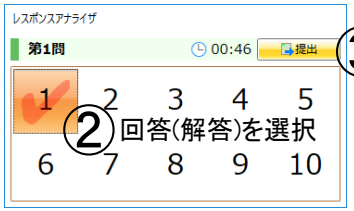
[教材]タブ→アンケート

レスポンスアナライザでは回答ボタンを学生PCに表示して、学生が選択した回答や回答に要した時間を集計することができます。



レスポンスアナライザを使用する
「教材」タブの「アナライザ」ボタンをクリックし、「一問一答」か「複数」を選択すると、レスポンスアナライザ画面が開きます。

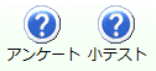
「一問一答」は、一問ずつ教員PCで開始終了の操作を行います。



「複数」は 、学生が設問数だけ連続で回答し、すべて回答し終わったら結果が集計されます。

回答を選択したら「次へ」ボタンで次の問題へ

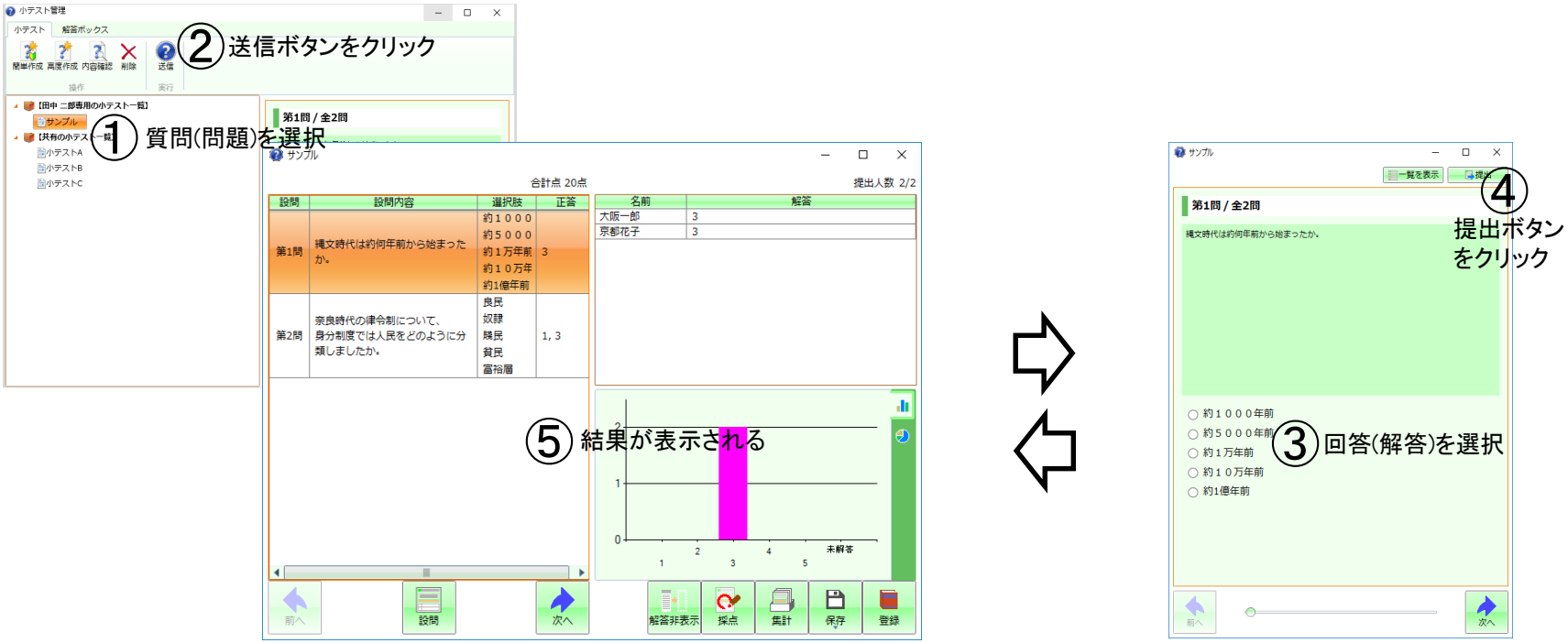
アンケートでは質問と回答の選択肢を学生PCに送信し、学生の回答を集計することができます。
小テストでは問題と解答の選択肢を学生PCに送信し、学生の解答を集計・採点することができます。



アンケート(小テスト)を使用する
「教材」タブの「アンケート」(「小テスト」)ボタンをクリックすると、アンケート(小テスト)管理画面が開きます。

質問(問題)を作成する
アンケートの「質問」・小テストの「問題」を事前に作成して、サーバーのライブラリに登録する必要があります。
「質問」・「問題」は教員PCまたは「アンケートツール」をインストールしたPCで作成することができます。

アンケート(小テスト)を実施する



小テストにのみ「採点」ボタンがあり、クリックすると解答済の学生PCに正解または不正解の判定・答え・獲得点数が表示されます。

終了時に集計データを「回答(解答)ボックス」に保存すれば、いつでも過去のデータを見ることができます。

出席管理

出席管理機能では、3種類の方式で授業の出席者情報を記録します。

記録された情報から条件を指定して抽出したり、リストにしてファイルに保存することもできます。

○ログオン／ログオフ（自動記録）
学生PCにログオン／学生PCからログオフした日時を
「授業中」か否かは区別なく、自動的に記録します。

○授業開始／授業終了（自動記録）
学生PCにログオン／学生PCからログオフした日時を
「授業開始」／「授業終了」のタイミングに補正して、自動的に記録します。
※Wingnetを「授業中」にしないと記録されません。

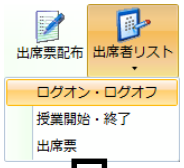
・授業開始前にログオンした学生→出席日時は授業開始日時
・授業開始後にログオンした学生→出席日時はログオンした日時
・授業終了前にログオフした学生→退席日時はログオフした日時
・授業終了後にログオフした学生→退席日時は授業終了日時

○出席票
教員PCから「出席票」を配布し、提出した学生の提出日時を記録します。

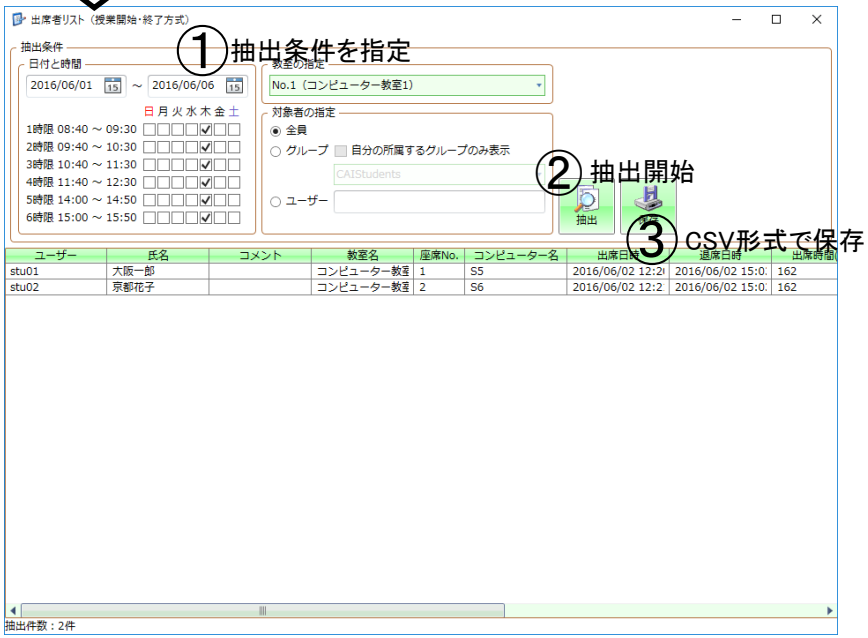
[基本]タブ→出席

出席者リストを開く ※「授業中」ではない時

日付や時間などの条件を指定して、過去の出席者情報を抽出することができます。



「出席者リスト」ボタンをクリックして記録方式を選択すると、選択した記録方式の出席者リスト画面が開きます。



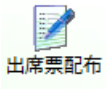
抽出条件を指定して「抽出」ボタンをクリックすると、記録された出席者情報の中から条件に一致したものがリスト表示されます。

「保存」ボタンをクリックすると、抽出されたリストをCSV形式のファイルに保存する事ができます。

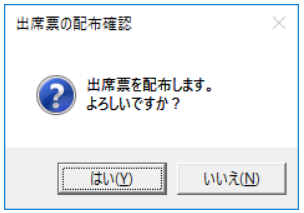
[基本]タブ→出席

出席票を配布・回収する

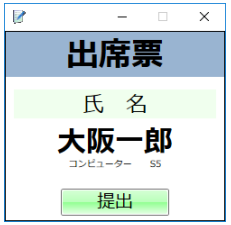
出席票方式を利用するには、まず「出席票」を学生PCに配布し、学生に提出させる必要があります。



「出席票配布」ボタンをクリックすると、学生PCの画面上に「出席票」画面が表示されます。



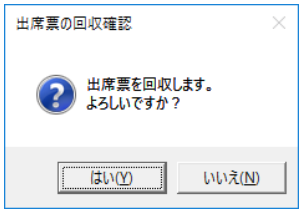
教員PC



学生PC

出席票画面の「提出する」ボタンをクリックした学生は出席扱いになり、出席票を提出した日時が出席日時として記録されます。

出席票を配布した後に、再び「出席票配布」ボタンをクリックすると、配布した出席票を回収します。
※学生PCの画面上に表示されていた「出席票」画面が閉じます。

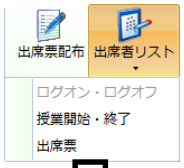


教員PC

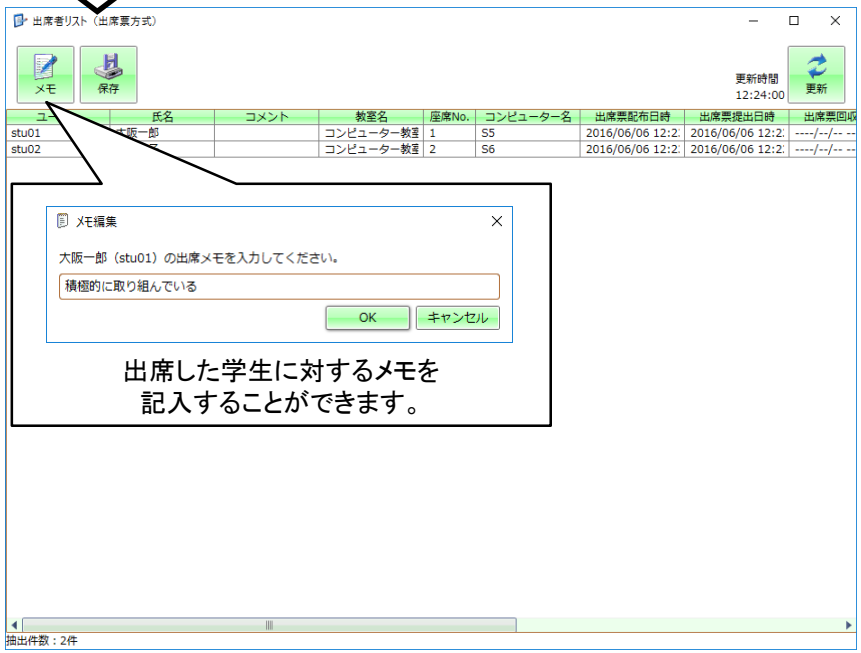
学生は、教員が出席票回収を行うまでの間だけ出席票の提出が可能です。
教員は、授業の中で5回まで出席票を再配布することができます。

出席者リストを開く ※「授業中」

この授業に出席している学生がリスト表示されます。



「出席者リスト」ボタンをクリックして記録方式を選択すると、出席者リスト画面が開きます。

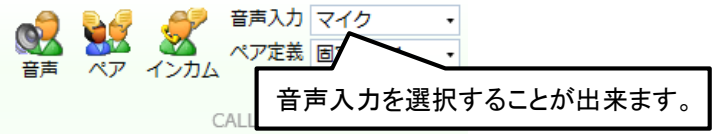


選択した記録方式で出席認定された学生がリスト表示されます。

「保存」ボタンをクリックすると、出席者リストをCSV形式のファイルに保存することができます。

[基本]タブ→CALL

音声を学生PCに送る
教員PCに接続された録音デバイス(マイク等)の音声を、学生PCに送信することができます。



ペア会話を行う
学生同士のペア会話を行うことができます。

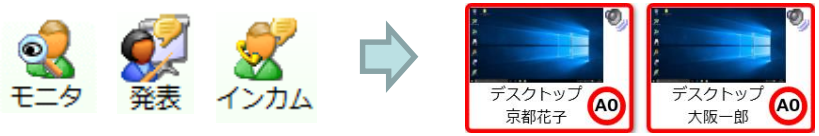
グループ会話を行う
同じグループの学生同士で会話を行うことができます。

学生と会話する
「インカム」ボタンをクリックして学生アイコンを選択すると、学生と1対1で会話することができます。

指定した学生に発表させる
「発表」ボタンをクリックして学生アイコンを選択すると、教員が選択した学生PCの画面とマイクの音声を、教員PCとその他の学生PCに送信することができます。

ペア機能と併用する

ペア会話中の学生アイコンどちらかを対象に「モニタ」・「発表」・「インカム」を組み合わせて使用することができます。



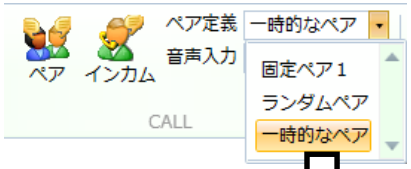
ペア会話中の学生アイコン

ペア＋モニタ
対象の画面とペア会話を教員PCでモニタリングすることができます。
ペア＋発表
発表者の画面とペア会話を教員PCとその他の学生PCに送信します。
ペア＋インカム
ペア会話に教員が介入し、三者会話することができます。

ペア定義

「ペア定義」でペア会話時の学生の組み合わせかたを選択することができます。

固定ペア：あらかじめ定義されている組み合わせを使用する
ランダムペア：ログオンしている学生PC同士をランダムに組み合わせる
一時的なペア：この場限りで教員が自由に組み合わせを定義できる



一時的なペアを定義する
「ペア定義」で「一時的なペア」を選択すると、ペア定義画面に切り替わります。

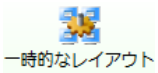
ペアが定義されていない学生アイコンを二つクリックすると、A0、A1といった番号が割り振られてペアになります。
サイドバーのリストでペアの組み合わせを確認することができます。

ペアが定義されていない
学生アイコン

ペアが定義済みの
学生アイコン

定義が完了したら「開始」ボタンをクリックしてペア会話を行います。

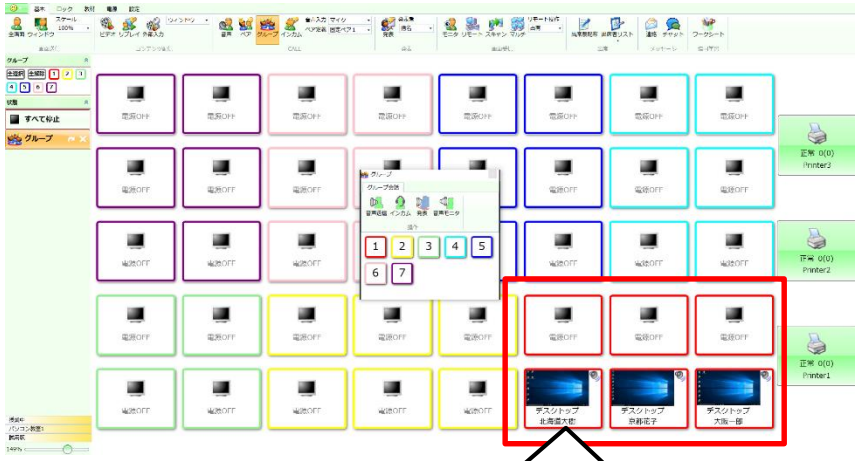
グループ会話



グループ会話をはじめる前に、「設定」タブの「一時的なレイアウト」で、**ひとつのグループの学生PCが6台以下**になるように調整してください。

①学生アイコンを選択　②グループを選択

「基本」タブの「グループ」ボタンをクリックすると、グループ会話を行うことができます。



同じ枠色の学生PC同士で会話することができます。

グループ画面

「グループ会話」タブのボタンで、教員PCからグループ会話に介入することができます。

音声送信
すべてのグループに教員PCのマイク音声を送信します。
※「音声送信」中はグループ会話できなくなります。

インカム
「インカム」ボタン押下後にグループ画面内のグループボタンをクリックすると、教員PCと選択したグループのPC間で会話することができます。

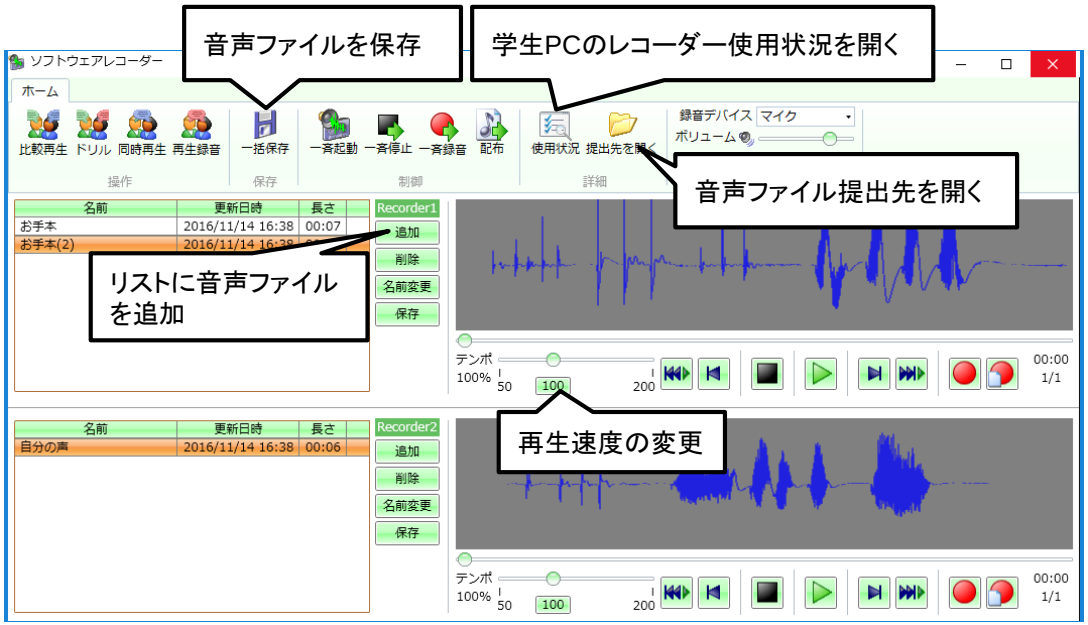
発表
「発表」ボタン押下後にグループ画面内のグループボタンをクリックすると、選択したグループの会話をその他のPCに送信することができます。

発表＋インカム
「発表」を開始した後に「インカム」ボタンをクリックすると、発表しているグループの音声に教員の音声をミックスすることができます。

音声モニタ
「音声モニタ」ボタン押下後にグループ画面内のグループボタンをクリックすると、選択したグループの会話を教員PCで聞くことができます。

ソフトウェアレコーダー(教員用)

リボンの「基本」タブの「CALL」→「レコーダー」ボタンを押すか、デスクトップ上の「ソフトウェアレコーダ」アイコンからソフトウェアレコーダーが起動します。ソフトウェアレコーダーは、音声を録音・再生したり、学生に配布することができます。



リピーティング

Recorder1の音声を再生した後、続けてRecorder2の音声を再生します。

Recorder1の音声を再生した後、続けてRecorder2で音声を録音することができます。

シャドーイング

Recorder1とRecorder2の音声を同時に再生します。

Recorder1の音声を聞きながら、同時にRecorder2で音声を録音することができます。

学生のレコーダーを一括操作する

学生PCのソフトウェアレコーダーを一斉起動します。

すべての学生PCのソフトウェアレコーダーで動作中の機能を停止させることができます。

オールコール(Wingnetの「音声」機能)の音声を、すべての学生PCで一斉に録音させることができます。
※事前にWingnet操作画面の「音声」ボタンをクリックして、オールコールを開始しておいてください。

教員PCのソフトウェアレコーダーの音声を、学生PCのソフトウェアレコーダーに配布することができます。

ソフトウェアレコーダー(学生用)

デスクトップ上の「ソフトウェアレコーダ」アイコン、もしくは教員PCからの一斉起動でソフトウェアレコーダーが起動します。
ソフトウェアレコーダーは、音声を録音・再生したり、録音した音声を教員に提出することができます。

リピーティング

Recorder1の音声を再生した後、続けてRecorder2の音声を再生します。

Recorder1の音声を再生した後、続けてRecorder2で音声を録音することができます。

シャドーイング

Recorder1とRecorder2の音声を同時に再生します。

Recorder1の音声を聞きながら、同時にRecorder2で音声を録音することができます。

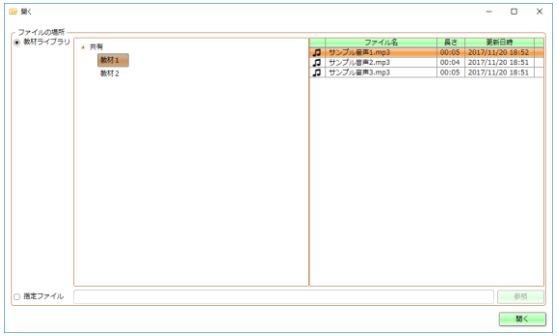
音声ファイルを提出する

Recorder2のリストから選択した音声を提出することができます。

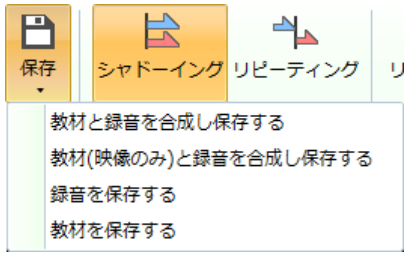
WingnetMixer

動画や音声ファイルをお手本にヒアリング・録音したり、お手本と録音した音声を合成することができます。

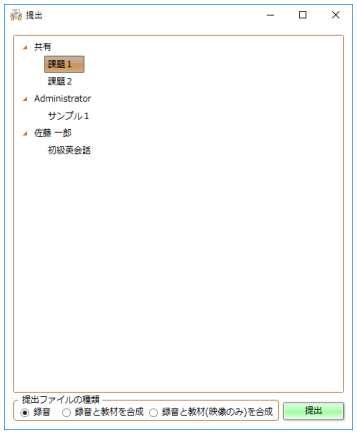
①教材を開く

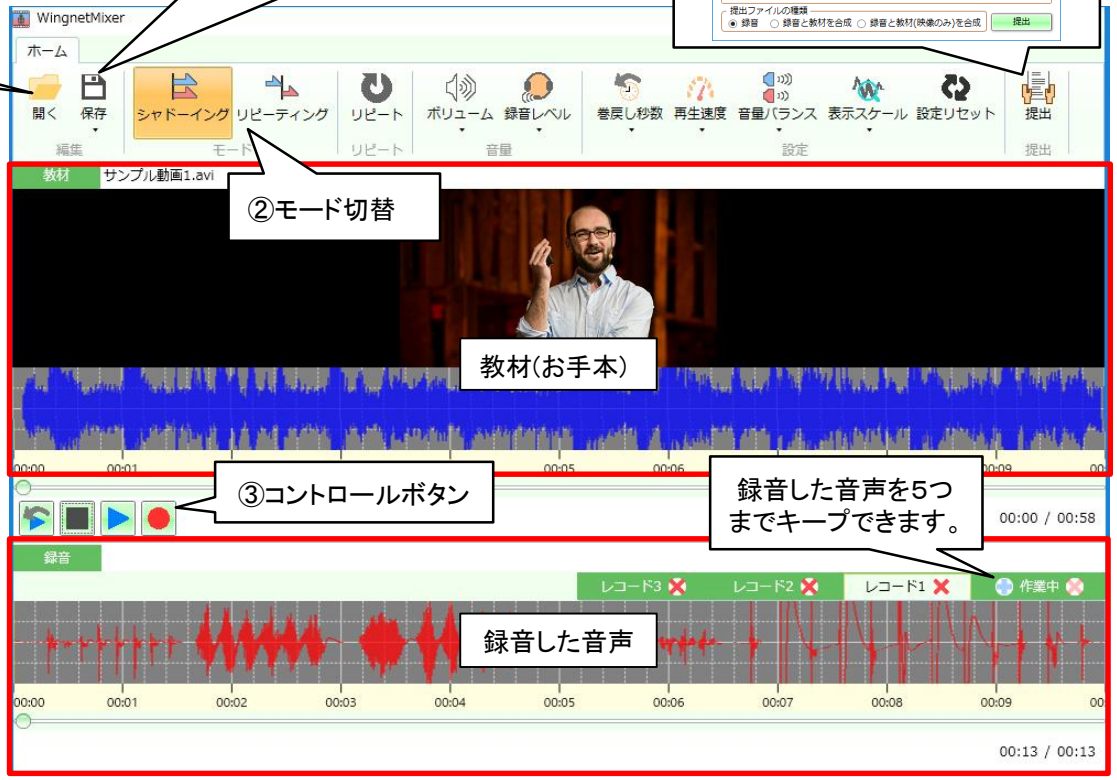


処理を選択して保存



提出先を選択して提出　※学生用





①「教材」(ライブラリから、または指定したファイル)を開く。
②シャドーイングまたはリピーティングを選択する。
③ヒアリングや録音を行う。

シャドーイング＋再生：「教材」と「録音」を同時再生
シャドーイング＋録音：「教材」再生と同時に録音する

リピーティング＋再生：「教材」再生後、「録音」を再生
リピーティング＋録音：「教材」再生後、録音する

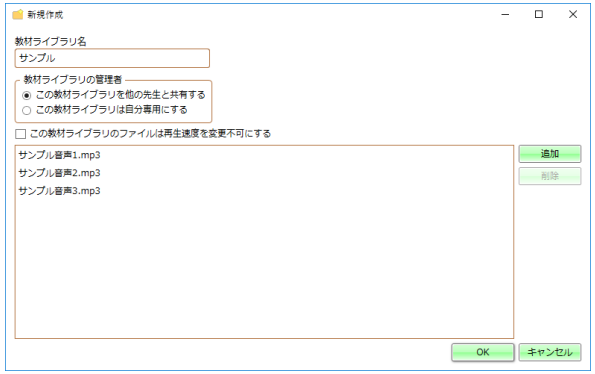
録音した音声は、教材と合成または単体で保存したり、提出することができます。

WingnetMixer

「管理」タブでは、教材(ファイル)や提出先の登録を行なったり・ファイルのプレビューを行います。
※教員用

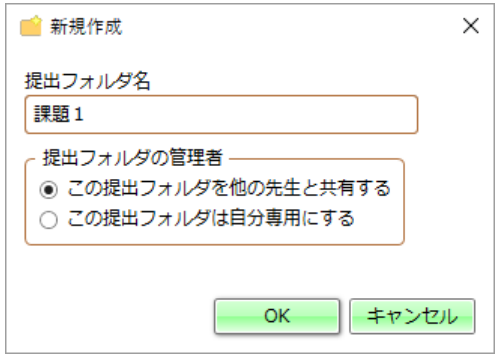
教材ライブラリ

「ホーム」タブの「開く」ボタンから参照できる
「教材ライブラリ」を管理します。



提出フォルダ

「ホーム」タブの「提出」ボタン(※学生用)から、
ファイルを提出できるようにします。



プレビューフォルダ

フォルダーを指定して開くと、音声・動画ファイルのみをリストに登録してWingnetMixerでプレビューすることができます。